

報道関係各位

2026 年 1 月 15 日
株式会社インテージリアルワールド

フォシーガ後発医薬品の発売初月動向（2025年12月） 後発医薬品比率 11%で緩やかな立ち上がり

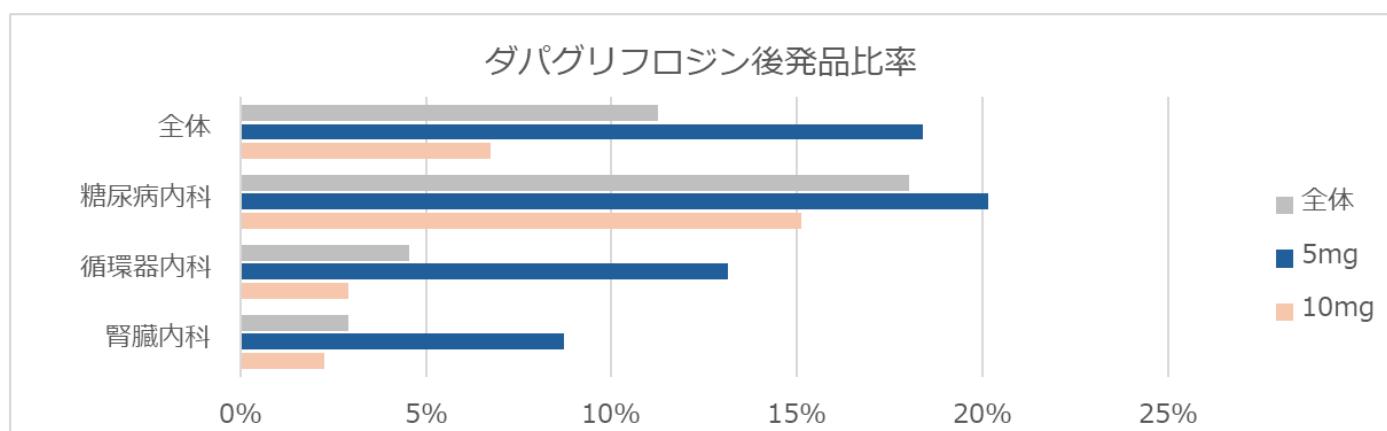
医療情報分析サービスを提供する株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤暢章）は、独自に運用する統合医療データベース「Cross Fact」の2025年12月データを基に、医療用医薬品の処方動向を分析しました。

2025年12月、糖尿病・慢性心不全・慢性腎臓病の適応を持つフォシーガ（成分名：ダパグリフロジン）に後発品が発売されました。フォシーガは2024年度の国内売上金額が1,000億円超の大型製品であり、後発品への切替が注目されています。今回は後発品発売初月の切替状況を「Cross Fact」で検証しました。

発売初月（2025年12月）の後発品比率は11%でした。2025年9月に後発品が発売されたエクメット（後発品名：メホビル配合錠）は初月27%で、ダパグリフロジンの切替は相対的に緩やかであったことがわかります。背景として、メホビル配合錠が先発品と同一適応であるのに対し、ダパグリフロジンの後発品は糖尿病のみを適応として承認されており、先発品を処方されている全患者が後発品への切替対象にならない点が挙げられます。

また、各適応症の専門診療科ごとの後発品比率は、糖尿病内科18%、循環器内科5%、腎臓内科3%、各適応症の標準投与量（慢性心不全、慢性腎臓病は10mg、糖尿病は5mg）ごとの後発品比率は10mgが糖尿病内科15%に対し、循環器内科・腎臓内科は3%前後となりました。5mgは循環器内科・腎臓内科でも（同診療科の10mg比で）相対的に後発品比率は高めでした。以上の結果から、初月は適応のある糖尿病領域を中心に切替が進んだことがわかります。

■ダパグリフロジン 2025年12月 後発品比率（数量ベース／診療科・用量別）



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

選定療養など後発医薬品への切替を促進する施策が設けられており、近年では後発医薬品発売から数か月で後発品比率が 80%前後まで上昇する事例が増えています。ダパグリフロジンは初月の後発品比率が比較的低い水準でしたが、今後の推移に注目が集まります。

今後もインテージリアルワールドでは、Cross Factの更新速度を活かし、タイムリーな情報発信を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド ソリューション企画部 鹿島田

E メール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>